Education Guide

探究心が動き出す。

理念

Philosophy

教育は誰のためのものかと問われれば、保護者の方、教育に携わる方であれば「子どものため」と、答えはすぐに出てくることでしょう。

「子どものため」に大学入試改革を始めとし、プログラミングや英語4技能など、さまざまな教育改革が導入・実施され、見かけ上は新しい教育が行われているように思えますが、とどのつまり、これらの行きつく先は入試や試験。旧態依然の偏差値や点数を基準にした社会的判断システムが厳然と存在しています。

大人や社会にとっては都合が良く、一部の子どもたちにとっては心地の良い、この社会的判断システムは「学力の向上」や「目標を持つ」という点においては意味のあるものだと思いますが、このシステムに囚われている教育が本当に子どものため・生徒のためになっているか、見つめなおす時が訪れたと私は考えています。

子どもたちへの教育は、親が決めた、そして国が決めた「学ぶべきこと」からスタートしています。長年教育に携わり、受験指導を行ってきた私も、学ぶべきことに沿った、学力向上のための努力や進路・進学目標を持つ大切さは承知しています。

しかし、子どもたちが迎える未来は、社会的判断システムに依存する教育で培われた力のみを求めています。

未来が求めているのは、解なき世界において、どんな状況下であっても意欲を持って学び、行動し、創造することができる力。数値では測ることができないこれらの力を伸ばし、育むことにこそ、「子どものため」という言葉の本質があると考えています。

子どもたちが本当に学びたいとおもっている事を学んでほしい。

先生が主役でなく、学ぶ人が学びの主役になってほしい。

自らの成長を自ら促進できるようになってほしい。

この思いをベースに、EduStudio 20 を開設しました。

キーワードは「探究心」。

探究心が動きだす、子どものための教育がここにあります。

驚き・感動・不思議で彩られた世界を一緒に歩いていきましょう。

代表紹介

丹羽将司(にわまさし)名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻卒。岐阜県岐阜市出身。生粋の理系の道を歩んでいたが、なぜか教育の世界へ。中学・高校・大学(医歯薬)受験指導に携わった後、科学教育コンテンツの開発・FCを事業とする企業に転職。日本・海外で普及に努める日々を送る。2009年に独立し、自然科学体験教室サイキッズを開校。教室の運営と同時に、科学教育コンテンツの開発を行い、現在、日本122教室、海外5教室で展開中。モットーは「準備をした段階で本番は終わっている」。特技(?)は小3の時に憶えた円周率40桁が今でも暗唱できること。

行ってみよう。

やってみよう。

初めてが多いほど、

きっと楽しい。

20 ラボ

探究心が動き出す

20ラボでは、子どもたちだけでなく大人もワクワクするような、探究心が動き出すレッスンをを行います。

このタイプのレッスンは、一般的に「探究学習」と呼ばれており、様々なスタイルがありますが、最初に20ラボにおける探究学習の定義について説明します。

私たちが行う探究学習とは、

問いを立て、自分の考えを持ち、それをプレゼンテーションする一連の流れ

であり、このステップを毎回のレッスンの中で実施します。

扱うテーマは多種多様。

分野を問わず、「学校では教えてくれないけれども大切な事」や、学校で教えてくれるけれども、突き詰めると面白くなる「学習指導要領より先の事」などを EduStudio 20 独自の視点と発想で創り上げた内容をラインナップしています。

もちろん、学びの主役は子どもたち。

私たちは、ファシリテーターに徹しますが¹、段階に応じて、コーチング・ティーチング・メンタリングも行います。

日々の生活が驚き・感動・不思議に満ち溢れ、主体性と実行力が育まれていくレッスンが²20ラボ。

ここでしかできない探求と体験があります。

自分自身の探求へ

20ラボでは様々な世界の探求を行います。最後に目指すのは「自分自身を探求し、自分になる」こと。すなわちいざれ訪れる思春期に、自分は何がしたいのか？どのような存在なのか？どう生きていきたいのか？など、自己への問いに対し、自分なりの答えを出すことができる事です。かけがえのないお子様の人生において、自分の道を、自分らしく、強く、優しく、遅く、前向きに進むことができることができるよう、全力でお子様と向き合います。

※20ラボに関連して、「探究学習で教科学習の学力が向上する理由」「非認知能力と私立中・公立中高一貫校受験との関係」など、他にもお伝えしたいことがありますが、紙面の関係上、それらについて記すことができません。機会を改めてご案内いたします。

Q レッソンの流れを教えてください。

A 20 ラボのレッスンは、生徒と講師間でやりとりを行う双方向スタイル。1回完結型で実施し、3つのステップで構成されています。それぞれの概要を下記します。

STEP 1

いわゆる導入ステップです。テンポの良い進行と工夫された授業展開、テーマへの興味関心を高める映像や体験が、子どもたちの探求心を動かし始めます。

STEP 2

各レッスンのテーマには、子どもたちが自ら探求したくなるような問いかけを設定しています。iPad や PC を用いたリサーチ、講師や仲間同士のディスカッションを通じて自分の考えをまとめ、最後にプレゼンテーションを行います。このステップが探究心の動きを加速します。

STEP 3

探求を行った後は、ミッションにチャレンジ！各テーマに用意された、20ラボオリジナルのコンテンツを体験します。バーチャルではないリアルな体験が、子どもたちの探求心を大きくしていきます。

各レッスンのテーマは、自然科学・歴史・地理・経済・医療・ロボット・IT・芸術・スポーツ・時事など、私たちの生活とつながりがある幅広い分野からピックアップします。

Q 教室の中だけで完結するのではなく、教室外へつなげる展開はありますか？

A 20ラボのコンセプトはそのままに、教室外で活動を行う、宿泊を伴ったプログラム「20☆ツアー」や、外に向けた成果発表として各種コンクールへの参加がごあります。ぜひ、積極的にご参加ください。

その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

探究心を未来の力へ

社会全体が進むデジタル化・情報化に対応するべく、未来を担う子どもたちに要望される力の1つとして「ITスキル」があります。

ITスキル人材を育成するという号令のもと、プログラミング教育の必修化、大学入試共通テストに「情報」科目導入決定など、公教育においても、子どもたちを取り巻く教育環境に大きな変化が起きています。

しかし、本来、ITスキルの習得は「社会の問題を解決し、世界をより良くする」ことが目的だったはず。上記に挙げた変化が本来の目的から離れてしまい、テストのための「手段」へと置き換わる可能性があることに、一抹の懸念が残ります。

願わくば、子どもたちには「自分の夢をかなえる」ことを目的としてITスキルの習得を行ってほしい。

ITには自分のアイデアを実現し、人々を喜ばせたり助けたりすることができる力がある事を体感してほしい。

「やらさせる」のではなく、「やってみたい」が学びの原点となるICT教育空間をつくりたい。

20プロは、この思いをベースにして誕生しました。

1人ひとりの「やってみたい」は十人十色。

プログラミング、画像編集、動画編集、3Dプリンター、ドローン、ロボット、ゲーム制作、アニメーション、Word・Excel・PowerPoint…子どもたちが「やってみたい」と思うデジタルコンテンツがここにあります。

例えば、『ゲームを作りたい』という目的があった場合、それを達成するための手段はプログラミングのみではありません。なぜなら、ゲームはプログラマー以外にも、プロデューサー／ディレクター／グラフィックデザイナー／サウンドクリエイター…など、様々な職種の方々の力を結集して制作されているからです。

子どもたちに伝えたいのは、好きな事を見つけること。『ゲームを作るためにはプログラミングができなきゃダメ』なんてことはありません。ぜひ、20プロで自分だけの「好きな事」を見つけ、極めてください。

Q プログラミング教室ではないのですか？

A 20プロは、お子様一人ひとりの「やってみたい」に合わせて実施内容が変わりますので、プログラミングのみを行う教室ではございません。あえて申し上げるならば「プログラミングも行うことができる教室」になります。

Q 実施する内容はどのようにして決めるのですか？

A ご入会前に、お子様の希望／保護者様のご要望／ご家庭の方針等を踏まえ実施内容・目標を決定します。資格取得や検定、各種大会への出場なども行っております。お気軽にご相談ください。

Q 子どもがパソコン関係に興味を持っていますが、「これがやりたい!」というものはなさそうです。この場合、どのような対応になりますか？

A 興味はあるけれどもやりたいことが特に定まっていなかった場合は、数カ月単位で内容を変更します。左記文中に挙げている様々なデジタルコンテンツにチャレンジしていただき、その中から「これが好き!」というものを見つけてください。

Q 習い事全般に言えることだと思いますが、20プロの場合、いつまで続けたら良いのでしょうか？

A 20プロでは、「面談時に設定した目標をクリアしたら修了」と考えています。長く通う必要はありませんが、クリアするまでの期間は、目標の難易度やお子様の学年等によって変わります（何らかのご事情による、目標未達での途中退会は可能です）。

Q 例えば、小学生低学年から初めてプログラミングを学ぶ場合、どのような内容・目標設定を行うのでしょうか？

A プログラミングが初めての方の場合、ビジュアルプログラミングであるScratch（スクラッチ）を使用し、同時に、タイピングの練習も行います。内容は、プログラミングを学習するのであれば、少なくともif,else,for, while, break文の概念までマスターして欲しい（高学年であれば変数も）と考えていますので、これらの内容の理解と習得を目標に設定します。

※上記の目標設定はあくまで「例」となり、お子様によって変わります。

その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

好きな事を見つけ、それをする

20 トレ

探究力を高めるために

好きなこと・やりたいことを極めていく時のポイントは2つあります。

1つ目は「自主性」を伸ばすこと。

いわゆる非認知能力に分類され、調べる・考える・行動する...などを自立的に行う力です。

2つ目は「ステージに応じた基礎学力」を習得すること。

いわゆる、国語／算数／理科／社会／英語などの知識事項の習得・理解になり、探究をただの憧れで終わらせず、より深く理解したり、それを追求するための進路・進学に向けて学力の向上を行っていくことは必須です。

上に挙げた2つのポイントは「どちらか片方」ではなく「2つ同時」が基本。

これをクリアするべく、自ら学習する姿勢と習慣、そして確かな学力を身につけるプログラムが20トレです。

学習カリキュラムは オーダーメイド。

個別指導型のレッスンで、お客様の学習状況、ご家庭の方針に合わせて、都度、内容の最適化を行った指導を実施いたします。

人生における「学習」のキーワードは『矯めるなら若木のうち』。

小学生の時期に、生涯にわたって通用する学びのベースを整えることはお子様のより良い将来に向けて大きな糧となります。

ぜひ、自ら学習する姿勢と習慣、そして 確かな学力を 20トレで身につけてください。

20トレでは中学受験をご検討されている小1～小3の方、現在、中学受験塾にお通いの方の学習をサポートしています。…中学受験を考えているけど、今の学習状況で良いのかどうかかわからない／まだ低学年だし、本格的な塾に通うのはちょっとためらいがある／中学受験に向けて、子どもの意識を高めていきたい／苦手な教科や記述を集中的にレッスンしてほしい／塾のない日に、宿題のフォローやレベルアップをはかってほしい…など、中学受験に向けた学習の悩みは尽きることがありませんが、ご家庭の方針を踏まえ、一人ひとりに合わせた指導で、的確にそして徹底的にサポートします。中学受験をご検討されている方・中学受験塾にお通いの方は、ぜひ、一度お問合せください

中学受験をサポートしています

Q レッスンはどのような形式ですか？

A 個別型グループレッスン形式で実施します。

Q 学習カリキュラムはオーダーメイドという事ですが、どのように決定するのですか？

A ご入会前に面談をさせていただき、お子様の学力状況、ご家庭の方針（私立中受験の有無等）を踏まえ、指導内容や教材を決定します。算数・国語をメインに行いますが、作文や弱点単元の指導など、教科学習外の指導も可能です。また、進路・進学・学習だけでなく、現在通われている他の習い事・塾に対するセカンドオピニオンも承ることが出来ます。お気軽にご相談ください。

Q 学力の到達目標はありますか？

A 内々で設定している学力の到達目標は「四谷大塚 全国統一小学生テストで偏差値 60 以上」になります。20トレの講師はこのレベルの学力を育成するべく、日々、指導を行っています。

Q 中学受験に対応していますか？

A 20トレは「中学受験サポートコース」を開講しています。小1～小3は、中学受験塾に通い始める前の準備（基礎学力の向上および先取学習）を実施。中学受験塾にお通いの小4～小6の方は、弱点教科・単元の集中レッスン／記述力向上トレーニング／塾の宿題フォローなど、お子様に合わせた学習サポートを実施します。

Q 指導教科は何ですか？

A 全教科（算数・国語・理科・社会）に対応しています。また、上記の教科に限らず、作文や時事、公立中高一貫校受験対策も実施することができます。

その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問合せください。

you can't use up Inquiring mind. The more you use, the more you have.